

透析を受けている 患者さんへ ～災害時に備えて～



はじめに



自然災害は、ある日突然私たちの生活を脅かします。特に透析治療を受けている患者さんにとって災害時の混乱は、命に関わる問題になることもあります。

災害時に自分の生命を守るためにできることはたくさんあります。まずは日頃から災害に備え、災害に遭ってしまったときは自分で自分の身を守ること(自助)、そして地域住民同士で助け合うこと(共助)、これらの「自助・共助」の考え方を平時から意識すると同時に、周りの人にも知っていただくことが大切です。

このマニュアルは、透析患者さんが災害時に、安全にかつ適切な行動ができるように作成したものです。日頃からの準備や心構えを持つことで、万が一の時にも慌てず、落ち着いて行動する事ができます。自身の命を守るためにこのマニュアルをぜひお役立てください。

1. 緊急時に備えて普段から準備しておくもの



- ・透析日誌、透析患者情報カードなど
- ・保険証、マイナンバーカードなど身分を証明できるもの
- ・特定疾病療養受療証、身体障害者手帳、重度心身障害者医療費受給者証
- ・お薬手帳
- ・透析施設名と連絡先
- ・非常用持ち出し袋（着替え・水・非常食・常備薬・懐中電灯・電池など）

2. 透析中に災害が発生したら

- ・布団をかぶって頭部を守り、回路をしっかり握るとともにベッドの柵につかまって揺れがおさまるのを待ちます。
- ・被害状況により透析の継続が困難と判断された場合、医師の指示のもと予定より早く回収（返血）を行います。状況により、避難後に針を抜く場合があります。
- ・針が抜けてしまった場合は、出血しているところを自身でしっかりと押さえてください。
- ・回収（返血）が困難と判断された場合、回路のクランプを止めて緊急離脱（返血をせずに透析を終了する）を行う場合もあります。
- ・避難の開始については各施設の指示に従ってください。各施設での安否確認終了後、今後の対応を確認してから帰宅してください。
- ・各施設の非常口や避難経路、住んでいる地区の避難場所の確認と、帰宅時の交通手段の確認をしておきましょう。



3. 透析室以外で災害に遭ったら

・まず、通っている透析施設に連絡をとりましょう。連絡方法は各施設の連絡方法に従ってください。可能な方法で連絡を取り、「自分の状況」を報告して、透析施設の状況を入手し指示を受けましょう。

・連絡が取れない場合は、

①「NTT災害伝言ダイヤル（171）」

電話が集中してかかりにくくなった時でもスムーズに連絡が行える方法です。このダイヤルを使用すると、通っている各施設の状況や透析の有無などの伝言が聞けます。



「災害用伝言ダイヤル」の使い方

【各施設の伝言を聞く場合】

171にダイヤルする

↓（ガイダンスが流れます）

2（再生）を押す

↓（ガイダンスが流れます）

各施設の電話番号を市外局番から入力する

録音されている伝言が再生される

※携帯電話、公衆電話、自宅の固定電話から利用が可能です

※毎月1日、15日は体験利用ができます

② Radio-f(ラジオエフ)

災害時、透析稼働についての情報はRadio-f(ラジオエフ)でも確認できます。

Radio-f(ラジオエフ)とは、富士宮・富土地域限定で放送を行っているコミュニティFM放送です。一度Radio-f(ラジオエフ)を確認して頂くことをお勧めします。

Radio-f(ラジオエフ)：84.4MHz

＊震災の大きさにより、上記方法が活用できない可能性もあります。

③富士宮市災害情報ページ

大規模災害時に富士宮市のウェブサイトが防災情報専用のウェブサイト（災害情報ページ）に切り替わります。このウェブサイトには透析関連情報がアップされ、情報提供を行います。

4. 災害発生後の生活について

- ・避難所では災害弱者であることに気づいてもらえないことを前提とし、透析治療患者であることを自ら申し出てください。
- ・家族や患者さん同士など、複数で行動するようにしましょう。
- ・各避難所には市役所の担当者が配置されますので、透析の情報は避難所にて確認してください
- ・通っている透析施設が透析不可能な場合、富士宮市透析防災ネットワーク内の各施設や行政機関と連携し、透析可能な施設の確保に努めますので、通っている透析施設からの連絡をお待ちください
- ・災害後の数日は、高カリウム血症やうっ血性心不全の危険性を避ける最低限度の透析(回数や時間の短縮、延期)で対応します。普段通りの透析治療はできないことをご理解ください。また、復旧や生活再建まで、一時的に被災地を離れての療養（広域搬送）になることもあります。
- ・避難所での感染症に注意しましょう。

上記の内容は日本透析医学会のホームページにも記載されています。
そちらもぜひ御参照ください。

